

北里大学同窓会栃木県支部 第六回定期総会中止のお知らせ

北里大学同窓会栃木県支部
支部長 滝 龍雄

北里大学同窓会栃木県支部会員の皆様へ：

支部会ニュース等で既にお知らせしてありました北里大学同窓会栃木県支部の第六回定期総会は、年初来懸念されておりました新型コロナウイルス感染が全国的に急増し、栃木県内でも感染者の発生が報じられていますので、定期総会の開催を中止することにしました。これ参加された支部会員の新型コロナウイルス感染を予防するためでもあります。

「定期総会」は本支部にとりまして最高の議決会議ですが、今回の特殊事情の為にご了承ください。つきましては、栃木県支部と同様に中止となりました北里大学同窓会の総会で採用しています「**書面審議**」で議題の審議をさせていただきます。

以下の議題につきまして、**同封してあります返信用はがきに諾否を記入の上、6月中にご返送ください。**

「書面審議」議題

議題1：今期（2018年7月～2020年6月）活動報告

支部長：今期は、第五回総会の後、順調に企画を開催できましたが、2019年11月の福島競馬場観戦ツアー開催は世話人の都合で中止しました。又、リレー・フォー・ライフへの参加者が減少傾向にあり、何とか対策を考える必要があります。他の企画は参加者も多く、2019年7月に開催した「服部 幸先生の公開講演会」は150名以上の来場者があり盛大でした。

- 2018年7月 第五回定期総会・講演会（檀原宏文先生）・懇親会
- 8月 栃木県支部ニュース No.27 発行
- 9月 リレー・フォー・ライフ 2018 in Tochigi
- 11月 福島競馬場観戦ツアー開催
- 12月 栃木県支部ニュース No.28 発行

- 2019年2月 新年会 2019（世話人；自治医大）
- 5月 栃木県支部ニュース No.29 発行
- 7月 公開講演会（服部 幸先生）・懇親会
- 9月 リレー・フォー・ライフ 2019 in Tochigi
- 12月 栃木県支部ニュース No.30 発行
- 2020年2月 新年会 2020（世話人；栃木県職員）
- 6月 栃木県支部ニュース No.31 発行
- 7月 第六回定期総会（書面審議）

議題2：今期（2018年7月～2020年5月）会計報告
会計（事務局・塚原訓子）：今期予定していた公開講演会の援助金が本部から得られなき。繰越金が減少した。

＜収入の部＞ 単位：円

項目	金額	備考
前期繰越金	1,102,978	
北里大学同窓会補助	246,960	講演会2回
北里大学同窓会補助	652,000	通信費補助
新年会参加費	261,000	30名、30名
懇親会参加費	267,000	30名、32名
広告協賛金	45,000	パンフレット
講演会祝い金	10,000	講師より
預金利子	19	
合計	2,584,957	

＜支出の部＞ 単位：円

項目	金額	備考
講会会場費、他	486,328	懇親会費含む
講演会事務費	45,120	パンフ、他
講師謝礼	100,000	
講演会諸経費	58,970	送迎費、花代
リレー・フォー・ライフ	80,200	参加費、広告
支部ジャンパー作成	119,016	
支部会ニュース作成	383,477	印刷費、他
新年会	347,072	飲食費、景品
弔電	1,587	
次期繰越金	963,232	
合計	2,584,957	

会計監査報告：和貝和子

監査の結果、適正であることを認めます。

2020年5月31日 会計監査 和貝和子

議題3：支部会則の改正について

支部長：現在、支部の会計年度は7月1日より翌々年の6月末日になっている。総会の開催が6月～7月なので、場合によっては会計年度の締め切り前に総会があり、中途半端になる。それで、会計年度を4月1日より翌々年の3月末日とすることで会計処理を確実に行うことができるため。

現行；

第五章 会計

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は6月1日に始まり5月31日に終わる。

改定案；

第五章 会計

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は4月1日に始まり3月翌々年の31日に終わる。

としたい。

議題4：次期活動計画

支部長：現在、日本全国で新型コロナウイルス感染症が拡大しており、栃木県においても緊急事態宣言下（5月25日現在）にあり、いつ収束するかの見通しは不明である。そのため、今秋の企画は中止し、2021年の栃木県支部新年会からの活動再開を目指す。リレー・フォー・ライフ2020は中止となった。

2020年7月 第六回定期総会（書面審議）

8月 栃木県支部ニュース No.32 発行

12月 栃木県支部ニュース No.33 発行

2021年2月 新年会2021（支部長・副支部長）

5月 栃木県支部ニュース No.34 発行

7月 公開講演会・懇親会

9月 リレー・フォー・ライフ2021in Tochigi 参加

10月 支部ゴルフ大会

12月 栃木県支部ニュース No.35 発行

2022年2月 新年会2022（済生会宇都宮病院）

5月 栃木県支部ニュース No.36 発行

7月 第七回定期総会

議題5：次期役員・運営委員・会計監査の選出

支部長；基本的には現在の各役員継続を前提としているが、諸事情により一部辞退者があり、新規に3名の方に加わってもらう予定である。

次期役員、運営委員として以下の方々を推薦する。被推薦者には、予め推薦する旨の承諾を得ている。

次期役員・運営委員・会計監査候補

支部長；滝 龍雄（1971HH）

副支部長；岸 善明（1973VV）

福田容子（1981HI）

運営委員；石川信一（1973HI）、山口正利

（1976PP）、福田哲夫（1980MM）、磯 恵

美子（1981PP）、芝田周平（1981VV）、長

谷川恵美子（1981PT）、千野根純子（1984HH）、

田村明美（1984HI）、福島祐子（1988PT）、

村山明美（1991PT）、竹澤友妃子（1991VV）

中野睦月（1994PP）、天谷仁一（1997HI）、

齋藤けさよ（1998VV）、中野友裕（1999PP）、

戸田麻子（2001NN）、阿部祥次（2010VV）、

運営委員（事務局）；塚原訓子（1977HI）、篠

崎和美（2006AM）、廣瀬英俊（2006AM）、

松本典子（2010AL）、川又圭太（2010AL）

会計監査；鈴木 守（1980VV）、和貝和子

（1982HH）

議題6：次期予算案（2020年6月～2022年3月）

支部長：次期も節約に心がけ支部会費の徴収を行わない。新型コロナウイルス感染症の影響で秋までの企画は中止し、支部新年会2021からの活動を再開する。2021年は公開講演会を、2022年は第七回定期総会を開催。

＜収入の部＞

単位：円

項目	金額	備考
前期繰越金	963,232	
北里大学同窓会補助	800,000	講演会2回
北里大学同窓会補助	600,000	通信費補助
新年会参加費	300,000	30名 x 2回
懇親会参加費	150,000	30名 x 1回
広告協賛金	50,000	パンフレット
その他	10,000	
預金利子	20	
合計	2,873,252	

＜支出の部＞

単位：円

項目	金額	備考
講演会会場費、他	700,000	懇親会費含む
講演会事務費	50,000	パンフ、他
講師謝礼	100,000	
講演会諸経費	100,000	送迎費、花代
リレー・フォー・ライフ	50,000	参加費、広告
支部会ニュース作成	400,000	印刷費、他
新年会・懇親会	400,000	飲食費、景品
その他	2,000	
次期繰越金	1,071,252	
合計	2,873,252	

北里大学同窓会栃木県支部 新年会2020 開催報告

県南家畜保健衛生所
牧 誉大、矢部 翠

2月15日(土)午後7時から、JR宇都宮駅前のチサンホテル宇都宮内の「さかな処 だいたい」にて令和最初の新年会が開催されました。

今回は農政部が幹事とのご指名を頂き、県南家畜保健衛生所の牧誉大、矢部翠の2名で務めさせて頂きました。



(左から世話人の牧と矢部、そして元締め竹澤さん)

27名の先輩方に出席いただき、大盛況のなか無事、会を終えることができました。私事で恐縮ですが、私の叔父に北里大学の先輩がおり、大学時代に同級生だったという滝先生が連絡をとってくださり久しぶりにお会いすることができ、私自身にとっても大変有意義な時間となりました。



(全参加者との記念写真)

会場の「だいたい」には開始時間前から会員が集まり既に喉を潤しながら和気藹々と懇親を深めていました。

私自身も参加された先輩方と色々なお話をしたり、ビンゴゲームで盛り上がりとても楽しい時間を過ごすことができました。あっという間の2時間で、今後は若い世代の方にも積極的に参加頂けたらと思います。

滝先生には、色々ご助言を頂き有り難うございました。最後に、ご参加いただいた皆様、盛り上げて頂きありがとうございました。

新年会に参加して

山田 利信 (1978PT)

令和初めての北里大学同窓会栃木県支部の新年会が2月15日(土)に宇都宮チサンホテル内の日本料理店で開かれました。新型コロナウイルスの自粛ムードが始まる数日前だったので開催できたように思います。

私は、薬学部製薬学科を昭和53年3月に卒業した山田利信です。北里大学栃木県支部の新年会に初めて参加させて頂きました。北里の同窓会関係の集まりには今まで出たことがありませんでした。参加のきっかけは、栃木県薬剤師連盟の懇親会の折に、鹿沼の浅野君が同窓の後輩だとわかり、北里の栃木県支部の新年会があるとのこと。そこには、宇都宮で小児科を開業している福田君も参加することを聞いて、35年ぶりに合うのも楽しみなこと、長い間、地域薬剤師会の会長(一般社団法人小山薬剤会)を務め今年で後輩にバトンタッチするので、少し時間も取れるとこともあり参加することにしました。

知らない人だらけの様で少し躊躇しましたが、一番安心したのは先輩方が乾杯前から口を潤して、すぐに溶け込めたことです。また、良かったことは色々な学部の方が出席していたことです。衛生学部・畜産学部・水産学部・医学部・薬学部と当時私の在学時のすべての学部の方がいたことです、単科の大学と違い化学系の総合大学だと改めて感じました。



(たまたま薬学部の後輩、小野崎さんとビンゴと一緒に)

薬剤師だけの集まりではない新鮮さもあり、これからの行事も参加する価値があると感じました。

私は元々東京の出身で、栃木に小・中・高の同級生や同窓生がいないこともあり、この集まりは栃木県人としての友人の広がりになりたいと思います。

最後に、栃木県支部を永年まとめてこられた滝支部長に御礼申し上げます。

栃木県支部新年会に参加して

北里大学同窓会支部担当理事

薬学部同窓会薬友会会長 成松由紹 (1971PT)

栃木県支部の皆さん、新年明けましておめでとう御座

います。昨年は本部の活動に対して温かいご理解とご支援を頂戴致しましたこと、感謝申し上げます。今年も引き続き宜しくお願い致します。

さて、私は2020年2月15日(土)宇都宮で行われた栃木県支部の新年会に参加させて頂きました。同級生で同じく白金の体育会で一緒だった滝支部長から甥の牧君大が新年会の世話人なので是非来てくれという強烈的な(笑)呼び掛けに応じたもので、栃木県支部へは2回目の訪問となります。



(甥で世話人の牧君と)

最初は2年前の檀原先生の講演会に同行しました。その時は一泊して翌日も朝食を取りながら皆さんという話をしたことを覚えています。

不思議ですね。久しぶりにお会いしたのに、あっという間に最初の時の出会いの続きになってしまう。学部の垣根が無く、相手の年齢を尊重しながらも年齢の垣根もなくなる。本当に和やかに話が出来ます。何なんですかね、この穏やかな雰囲気、居心地は？私なりに分析を試みました。滝支部長の存在も切り離しては考えられない。休眠していた支部を再生させた同窓会への情熱と多少強引であろうリーダーシップ。参加された皆さんは仲間や先輩・後輩を誘って参加されているのでしょうか。恐らく同窓会の会合ばかりではなく、普段のお付き合いがあるのだらうと思います。学部から一人だけだったり、学部や年齢に壁があったら次第に会合から遠のいてしまいが、各学部の卒業生が満遍なく参加されているから孤独感も無く、和気藹々とした雰囲気になるのでしょう。集まりに参加しても、先輩方も飾らない謙虚さがいいですねえ。“普段着の家族の、仲間の集まり”、それが栃木県の同窓会なのかもしれません。写真も多く配置された会報を定期的に発行され、眼で見るコミュニケーションをしっかりと取られておられる。栃木県支部は1,250名の卒業生を抱える同窓会屈指の大規模組織です。現在の素晴らしい雰囲気の支部活動を少しずつ膨張させて、更なる飛躍をされることを期待しております。

支部担当理事として各県の支部を訪問させて頂いておりますが、各支部ともに会員の維持・増加やマンネリ化脱却を図りながら、種々工夫をされて活性化に努力されておられます。本当に頭の下がる思いで御座います。

同窓会本部としても可能な限り協力させて頂きます。会員の皆様にはお自愛召されて、益々のご活躍を祈念申し上げます。

栃木県支部会員近況 (新年会2020返信ハガキより)

(敬称略)

藤田 朋恵 (1991MM)

夫の藤田和己(1994MM)は町田市民病院から石橋総合病院に転職し、約2年経ちました。透析室を中心に働いております。

千野根 純子 (1984HH)

2019年4月から新しく環境分野の仕事の担当となりました。定年まであと数年。初めての仕事に右往左往する毎日です。

田村 明美 (1984HI)

ラグビーワールドカップ ニュージーランド戦を観戦して来ました。

大学時代ラグビー部マネージャーとして過ごした4年間の楽しい時間を思い出しました。

坂井 広人 (2002FF)

栃木県立博物館では3月から始まる「骨が語る動物の秘密」(テーマ展示)の準備を始めています。3/14(土)スタートです。ぜひ、おこし下さい!!

今井 幸子 (1970HC)

昨年、認知症サポーターの登録をして、近くのグループホームで傾聴活動をしています。

滝 龍雄 (1971HH)

この度、父親が中学校3年間同じクラスだった縁で若手落語家(春風亭柏枝)の後援会代表を引き受けました。文化的な素養はないのですが、少しでも勉強しなくてはと、インターネット等で多くの落語を聞いています。北里にも落語クラブがあったようですが、学生時代には全く知りませんでした。

磯 恵美子 (1981PP)

翌日、早朝から出かける予定があり、今年は残念ですが欠席します。

飯野 望 (1985HH)

毎年、この時期は学会で参加できず申し訳ありません。機会がありましたらまた参加させてください。栃木県支部同窓会がんばってください。

田村 大輔 (2000MM)

すいません。研究会がありました。元気にやっております。

大木 美智子 (1979PP)

保護司になって5年になりました。毎日が勉強の日々です。精神科通院の方は、日々体調変化があり、私がついていくことが大変です。ケアマネより苦勞があります。

前田 眞治 (1979MM)

大きな変化はありません。

当日は熱海で講演会のため出席できません。よろしく願いいたします。

黒田 良佳 (1990HH)

土・日は仕事の為、行事になかなか参加できず申し訳ありません。

龍野 佐知子 (1990MM)

すみませんが欠席でお願いします。

特に変更事項ありません。

新型コロナウイルス感染症 について考える

滝 龍雄

はじめに

2019年11月に中華人民共和国の武漢市で発生したと言われる新型コロナウイルス感染症は、今年に入り日本国内でも急激に感染が拡大し、4月7日には新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令された。

新型コロナウイルス感染症の現状は5月24日現在、データの信ぴょう性に疑問はあるが、公表されたところでは、下表(表1)のように、日本全国では累計患者数16,550人、死亡者数820人で、死亡率は5.0%である。因みに栃木県では累計患者数64人、死亡0人で、死亡率は0%ある。

一方、全世界では累計患者数520万人を超え、死亡者数も約34万人で死亡率は6.4%と日本より少し死亡率が高い。全世界の約3割の累積感染者数が報告されているアメリカでは累積感染者数が160万人、死亡者も約30%の97千人で、死亡率5.9%になり、感染発端の国中華人民共和国では感染者数83千人弱、死者46百人強で、死亡率5.6%となる。

表1. 2020年5月24日現在時点での新型コロナウイルス感染症患者数・死者数・死亡率

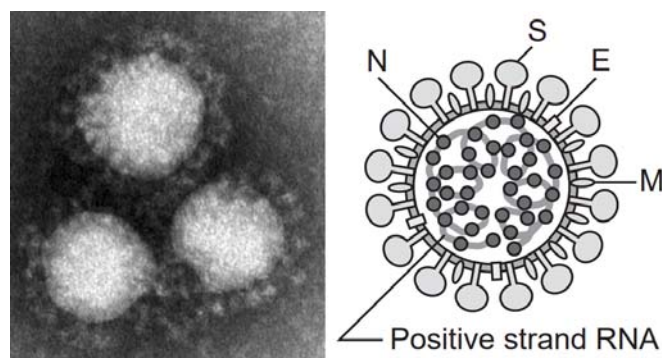
	累積患者数	死者数	死亡率 (%)
日本全体	16,550	820	5.0
栃木県	64	0	0
世界	5,288,392	340,875	6.4
アメリカ	1,656,906	97,414	5.9
中国	82,974	4,634	5.6

感染者であるか否かの基準は国により異なり、日本のように感染を確認された患者の周辺しか検査していない国もあれば、アメリカのように広く感染調査を行っている国もある。それでも死亡率が5~6%というのは注目に値する。

毎日、テレビや新聞、あるいは SNS などを通じて、感染の広がりや政府の対応に関する情報が飛び交い、不安を募らせている方も多く、「マスクをしろ!!」だの、「手を洗え!!」だの賑やかである。北里大学で微生物学・感染免疫学を専攻したものとして、コロナウイルスのウイルス学的考察、21世紀以降の過去2回の流行からの教訓、今後の展望について考えてみたい。

コロナウイルスとは?

コロナウイルスを電子顕微鏡で観察すると、直径約100nmの球形で、表面には王冠に似た突起を持っていることからギリシャ語で王冠を表す“corona”と名付けられた。ウイルスの遺伝子は一本鎖のRNAで、ウイルスの周りには細胞から出芽するときの宿主細胞膜由来の脂質二重層のエンベロープを持ち、ニドウイルス目・コロナウイルス亜科・コロナウイルス科に分類される。エンベロープ表面にはスパイク(S)蛋白、エンベロープ(E)蛋白、膜(M)蛋白がある(図1)。



(図1. 左はコロナウイルスの電子顕微鏡写真、右はウイルスの構造とエンベロープ表面構造：国立感染症研究所)

コロナウイルスのゲノムはRNAウイルスの中では最大の30kbで、ヒト以外の様々な動物も保有していることが知られ、遺伝学的特徴から α 、 β 、 γ 、 δ の5グループに分類される。21世紀に入ってヒトに大流行を起こしたSARS-CoV、MERS-CoV、SARS-CoV-19(新型コロナウイルスの名称)は β コロナウイルスに分類されている。

RNAウイルスの特徴は、遺伝子の変異しやすい事である。RNAは相補的なRNA又はDNA鎖を鋳型とし、5'端から3'端へ向け転写される事により複製される。従って、直鎖状でも環状でも完全に複製は起こる。RNAウイルスとして良く知られているAIDSの原因ウイルスであるヒト免疫不全ウイルス(HIV)はRNAを一旦逆転写酵素(Reverse transcriptase)によりDNAを作り、そのDNAを鋳型としてRNAを作る。RNA自体の特徴として複製の過程で突然変異を起こしやすく、またヒトとそれ以外の動物由来のウイルスとの間で遺伝子組み換えを起こすことが知られ、多くの血清型が増えることになる。

21世紀のヒトコロナウイルス感染症

ヒトに蔓延している風邪のウイルスが4種類と、動物から感染する重症肺炎ウイルスが2種類知られている。

1. 風邪のコロナウイルス

ヒトに日常的に感染する4種類のコロナウイルス(HCoV)は、HCoV-229E、HCoV-OC43、HCoV-NL63、HCoV-HKU1である。風邪の10~15% (流行期35%)はこれら4種のコロナウイルスが原因となる。

2. 重症急性呼吸器症候群ウイルス

(SARS : severe-acute-respiratory-syndrome virus)

21世紀に入り、コロナウイルスによるアウトブレイクは約10年に2度発生し、今回で3度目である。過去2度の流行について下表2. にまとめた。

21世紀のコロナウイルスアウトブレイク

	SARS	MERS
発生場所	中国	中東地域
ウイルス	SARS-CoV	MERS-CoV
最初の報告年	2002年	2012年
感染源	コウモリ	ラクダ・コウモリ
感染経路	飛沫感染	飛沫・接触感染
致死率 (%)	約10%	約35%
潜伏期間	2~10日	2~14日
主な症状	発熱・悪寒・筋痛	発熱・席・息切れ
ワクチン・治療薬	なし	なし
WHO 終息宣言	2003年	2015年

重症急性呼吸器症候群コロナウイルス (SARS-CoV) :

キクガシラコウモリのコロナウイルスがヒトに感染して重症肺炎を引き起こした。2002年に中国広東省で発生し、2002年11月から2003年7月の間に30以上の国や地域に拡大した。WHOの報告によるとSARS患者は8,069人、うち775人が重症の肺炎で死亡した(致命率9.6%)。感染者の中には一人から十数人に感染を広げる「スーパースプレッダー」が見られ、医療従事者への感染も頻繁に見られた。

中東呼吸器症候群コロナウイルス (MERS-CoV) :

ヒトコブラクダに風邪症状を引き起こすウイルスで、種の壁を超えてヒトに感染すると重症肺炎を引き起こすと考えられている。最初の患者は、2012年にサウジアラビアで発見され、これまでに27カ国で2,494人の感染者がWHOへ報告された。そのうち858人が死亡した(致命率34.4%)。高齢者や基礎疾患として糖尿病、慢性の心・肺・腎疾患などを患っていると重症化する。15歳以下の感染者は全体の2%程度で、その多くは不顕性感染か軽症である。2015年に韓国の病院で起こった感染拡大では、中東帰りの1人の感染者から186人へ伝播した。

新型コロナウイルス感染の予防

SARS-CoV-19の感染拡大予防の為、基本的な感染予防の実施や不要不急の外出の自粛、「3つの密」を避けること等が政府などから要請されている。

3密とは、

1. 密閉空間 (換気の悪い密閉空間である) を避ける。
2. 密集場所 (多くの人が密集している) を避ける。
3. 密接場面 (互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為が行われる) を避ける。

事で、家庭でも感染を拡大させるリスクを下げるため

1. 部屋を分ける
2. 感染が疑われる家族の世話は限られた人が行う
3. マスクを着ける
4. こまめに手を洗う
5. 部屋の換気をする
6. 手で触れる共有部分を消毒する
7. 汚れたリネン、衣服を洗濯する
8. ゴミは密閉して捨てる

事であるが、かなりハードルが高い。

新型コロナウイルス感染の危険性と今後

SARS-CoV-19はそんなに危険で、死亡者の多い感染症だろうか？今年インフルエンザが激減していると思われているが、無視できるのだろうか？

昨年1月に国内ではインフルエンザで1,685人の方が亡くなった。現在までのSARS-CoV-19による死亡者は820人である。

同じように感染が広がり犠牲者が出るウイルス感染症であるのに、既知の病だからといって現在のインフルエンザについてはほとんど報道されることがないのもバランスが取れていないのではなかろうか。

2019年も9月までのインフルエンザ死亡者数は3,000人を超えている。この人数は、医師が死因をインフルエンザと認めた人のみで、インフルエンザで入院した人でも、肺炎を併発したり、持病が悪化し心不全などその他の病気で亡くなったりした場合は含まれない。

2016年1463人、2017年2569人、2018年3325人と、ここ数年インフルエンザで亡くなる人が増えている。

過去のSARSもMERSも、感染が拡大してから一年程度で感染が突如終息した。その為にワクチン開発も治療薬の検索も行われなく現在に至っているが、なぜ急速に感染が終息したかの明確な理由は分かっていない。

今回の新型コロナウイルス感染症は昨年11月に大流行が始まっており、いつ頃収束するか現時点では予想できないが、過去2回の大流行の例から、来年(2021年)の後半まで長引くかもしれない。

早くこの新型コロナウイルス感染症の騒ぎが収まってほしいものである。